



pdasairdaum dasaniumb badaaumsb dapaadaum daum aapab nadafaaar k
僅かな出入の場所の家は出入りはあるが変化し、悪い希望の国になった。
多くの家は豊かな家であるが、家は崩され、十分では無い土地も後からであった。

nadaftdafdar aab daqaaaumsb nadaqaatb sdaum dafaadaum aaaum dafaaz
貧しくなく豊かな農地は全て自立の希望の国である。
自立心の無い国は家が集まり十分な家で軍が十分にある。

baada daqand daqtdaum tttk daum sand daqttdar sand nadafaadaumz
枠組みが小さく成立し、自立の無い家は集まる方向で、家や国土となった。
統治された農地や国土は長期ではない家となった。

daqaatb sair badaumdaum daumsaum dafaadar sar
自立的な国には日が差し、家のそばに家があった。家は指導者で
長期の農地はボスのものだった。

sdar aatar badar sdaum daaumsarb
農地を集め土地を加え、農地の傍に家を集め、小さな希望が集まり安全だった。

fbadaum badar baqbab daqdaum sand dafbadar daum k ar
しっかりした家は成長し小さな領域の傍で自立家の国土になった。
豊かな農地の周りは家となり後になった。

dafdar dand bada badaum nadaqdaum sand kdaum sand buz
豊かな農地は悪くなり、悪さは軒並みで不自立家の国土になった。
後に家や国土は移ることになった。

nadaqand said nadaqdar daqaumz sazi aadar daumdaumsazi
成立しなかった長老は自立希望となり、集まることができた。
幾らかの農地に次々と家ができ集める事ができた。

dafbab saum sar daumsar ar dar nadafda um aattk
豊かな領土の指導者、ボス、家長は土地や農地を、
豊かでない家と幾らかの契約をした。

sdar aab qbadaum aadaum fadaum dafdaum daumdand
農地を集めただけで小ささは家並みで、所有家は遠い家だった。
豊かな家は家が悪かった。

bdaqand sdardand daumdaumk dand daum aattd daumk
人はできたが集めた農地は悪く、次々と家の周りも悪くなった。
家は幾らかまとめ、(立派な)家は後だった。

daumandak daumdarda ttttaumb
家は大変古く家の農地は小さく、集められた国民となった。

(最後の行は単語の区切りが曖昧で、まるで一つの単語のようです。)